

- HEMS
- DR

「電力小売全面自由化」

「電力小売全面自由化」とは、一言で表すと「電力市場の規制緩和」です。

自由化前までは、契約できる電力会社が地域ごとに決められていましたが、その規制を緩和して既存の電力会社以外の参入を認めたことにより、一般家庭でもサービスや電気料金などをもとに、最適な購入先を自由に選ぶことができるようになりました。2000年3月に「特別高圧」区分の大規模工場やデパート、オフィスビルから始まり、「高圧」区分の中小規模工場や中小ビルへと拡大し、その後、東日本大震災を契機に、需要家への多様な選択肢の提供や、供給力の最大活用の観点から検討が行われ、電力システム改革の第2弾として、最後に残った家庭向けの「低圧」分野も2016年4月に自由化されたことで、「全面自由化」が実現しました。異業種から新たに電力事業へ参入した企業は「新電力」と呼ばれていて、全販売電力量に占める新電力のシェアは、上昇傾向にあります。電力市場価格の高騰により市場から撤退する事業者も出てきました。

HEMSのメリット

自由化の実施で一般家庭にとって重要になるのは、電気料金プランの選択です。

HEMSを活用すれば、電気の時間帯別の使い方や、自宅でのピークなどが把握できるので、それぞれの家庭の電気消費パターンに合わせた最適なプランを選ぶのに役立ちます。

また、将来的には、電気事業者からの「節電要望(ディマンド)」をHEMSが受け、エアコンの温度を自動的に調整するなど、家電や電気設備を自動制御して節電に「応える(リスポンス)」ことで、電気料金が割引されるといったプランが提供されることも予想されます。電力自由化を機に、快適な暮らしと節電に役立つHEMSへの関心が高まっています。

新電力のシェアの推移

